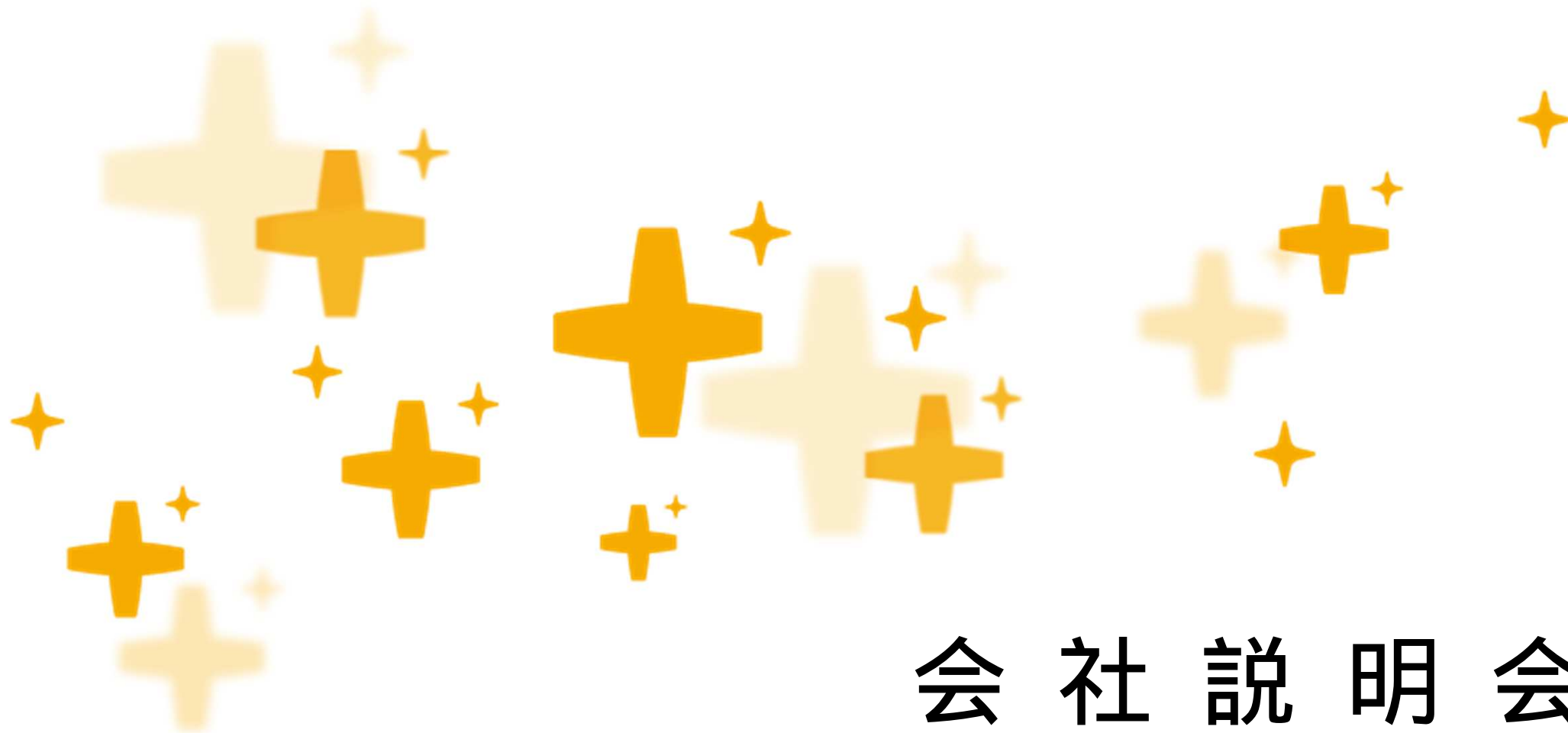


新たな可能性をプラスし、輝く未来へ。



会社説明会

第73回定時株主総会後（2024年6月27日）

代表取締役 社長執行役員 小林 和也



本日の内容

1. 会社概要
2. 2025年3月期 (74期) の業績見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 持続的成長に向けた取り組み



1. 会社概要

会社概要



(東証プライム 3433)

トーカロ株式会社

事業内容：溶射を中心とした表面改質加工

本 社：兵庫県神戸市

設 立：1951年 7 月

資 本 金：26億5,882万3千円

売 上 高：連結 467億35百万円（2024年3月期）

従業員数：連結 1,389名（2024年3月末現在）



当社の主な事業所

JCC = 日本コーティングセンター



本社・神戸工場・明石工場・
溶射技術開発研究所・JCC 明石

倉敷工場



北九州工場



JCC 本社

JCC 佐野



宮城技術
サービスセンター

東京工場



名古屋工場・JCC 名古屋



グループ会社

TOCALO



日本コーティング センター株式会社

設立年月：1985年4月
本社：神奈川県
出資比率：100%
主な事業分野：PVD処理加工

東賀隆(昆山)電子 有限公司

設立年月：2011年5月
本社：中国 江蘇省
出資比率：90%
主な事業分野：溶射(半導体・FPD)



東華隆(広州)表面改質 技術有限公司

設立年月：2005年4月
本社：中国 広東省
出資比率：70%
主な事業分野：溶射(鉄鋼他)

PT. TOCALO Surface Technology Indonesia

(非連結子会社で持分法非適用)

設立年月：2017年6月
本社：インドネシア
出資比率：100% (間接保有1%含む)
主な事業分野：溶射(鉄鋼他)

NEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.

(関連会社で持分法非適用)

設立年月：2012年10月
本社：タイ
出資比率：49%
主な事業分野：溶射(鉄鋼他)

TOCALO USA, Inc.

設立年月：2015年11月
本社：米国 CA州
出資比率：100%
主な事業分野：溶射(半導体他)



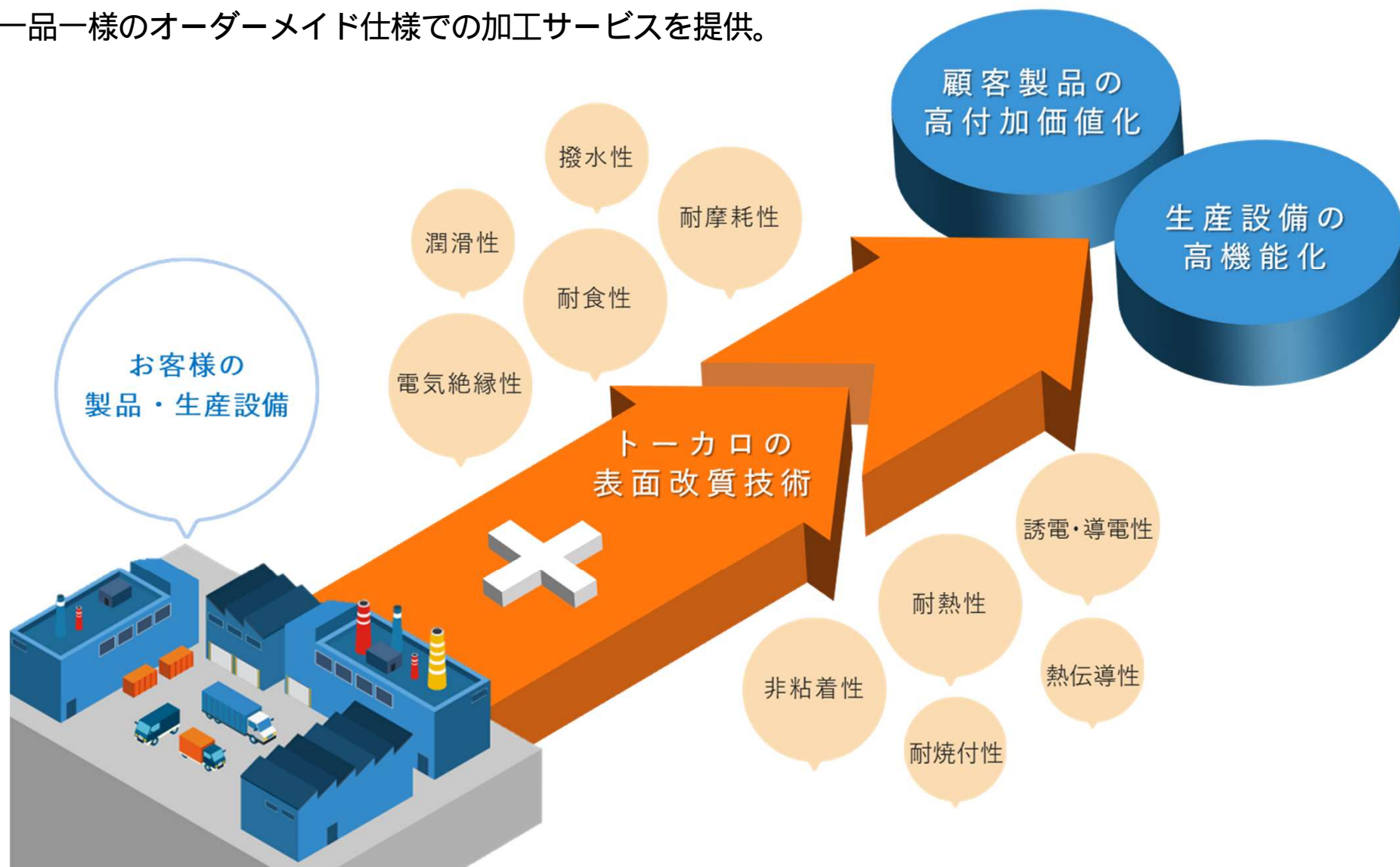
漢泰国際電子股份 有限公司

設立年月：2011年6月
本社：台湾 台南市
出資比率：50%
主な事業分野：溶射(半導体・FPD)



当社の表面改質技術

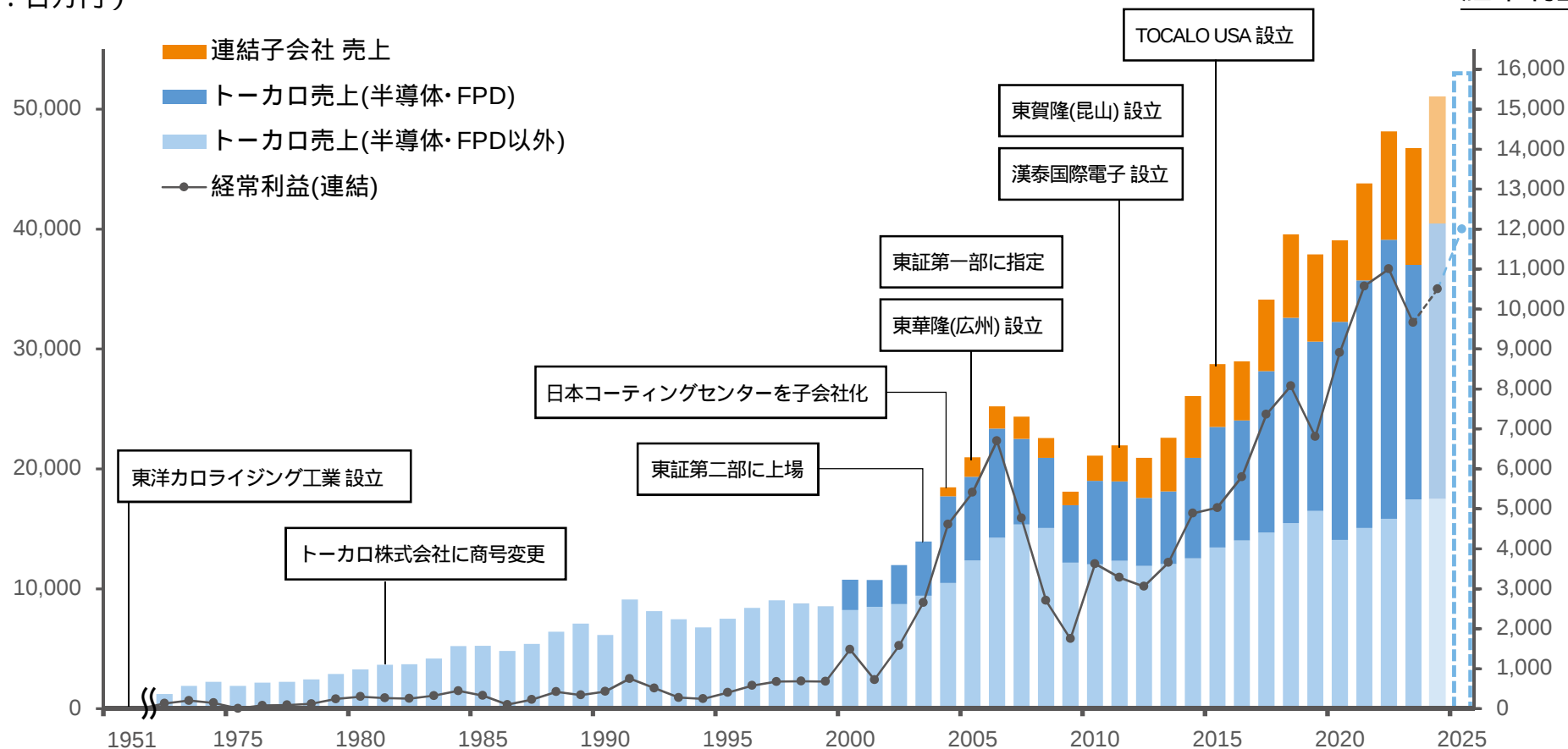
当社は厚膜から薄膜までの多種多様な表面改質技術を保有しており、顧客の様々な製品・生産設備に対して一品一様のオーダーメイド仕様での加工サービスを提供。



沿革・業績の推移 (1951年度～)

売上高
(単位：百万円)

経常利益



鉄鋼分野の成長

半導体分野
への参入

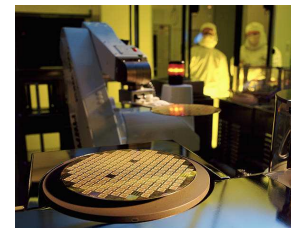
半導体・海外市場
の拡大

さまざまな産業界に広がる事業領域



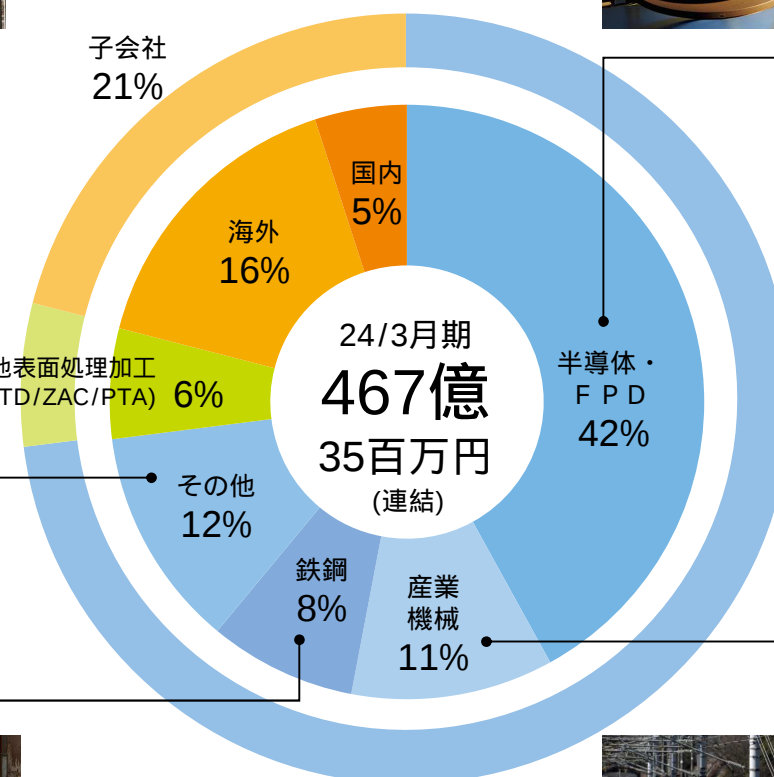
その他分野

- 石油精製・化学プラント関連
- 製紙ロール
- ガラス搬送ロール
- 風力・水力発電設備部品
- 航空機エンジン部材 など



半導体・F P D (フラットパネルディスプレイ) 分野

- 半導体・F P D 製造装置部品
 - ✓ 発塵防止(耐プラズマ)
 - ✓ 静電吸着
 - ✓ 帯電防止



鉄鋼分野

- 炉内ロール、亜鉛浴中ロール など
 - ✓ 耐ビルドアップ(堆積物)
 - ✓ 耐熱
 - ✓ 耐摩耗
 - ✓ 耐食



産業機械分野

- 電気絶縁ベアリング
- 発電用ボイラーパネル
- ガスタービン部材
- N A S 電池
- 電極材製造装置部品 など



溶射加工(単体) 73%



2. 2025年3月期 (74期) の 業績見通し

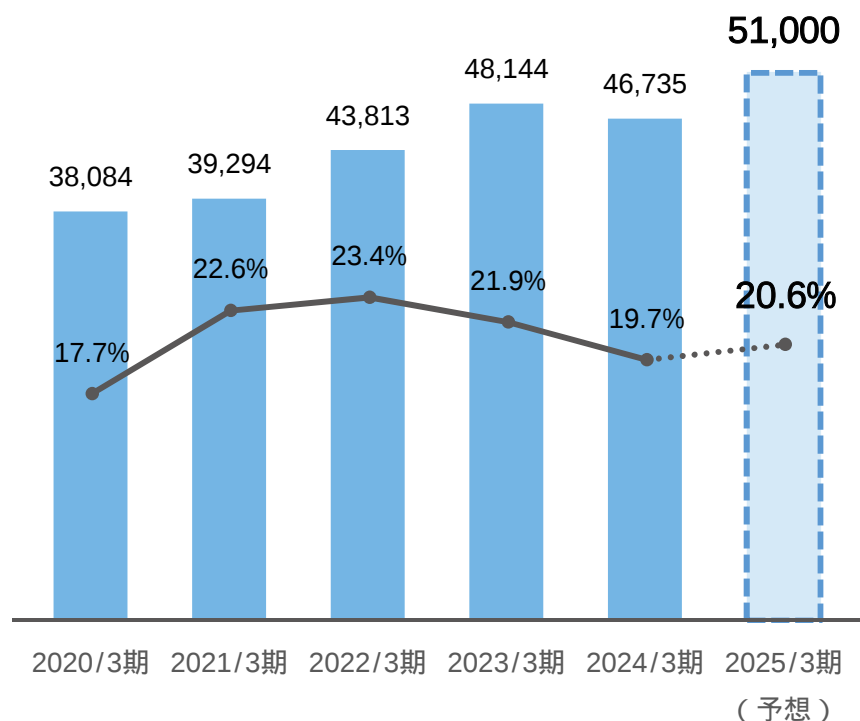
売上高と経常利益の見通し

POINT 半導体分野の回復により、
過去最高の売上高となる見込み

売上高

前期比
+9.1%

売上高(百万円)
営業利益率

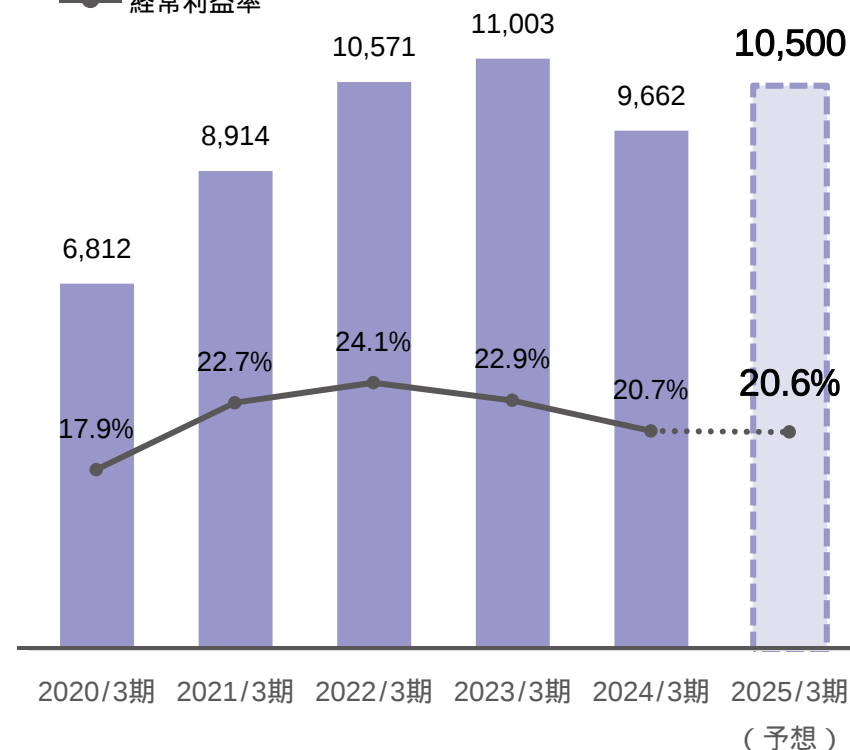


POINT 人件費増加を含む製造原価上昇により、
経常利益率は横ばいの見通し

経常利益

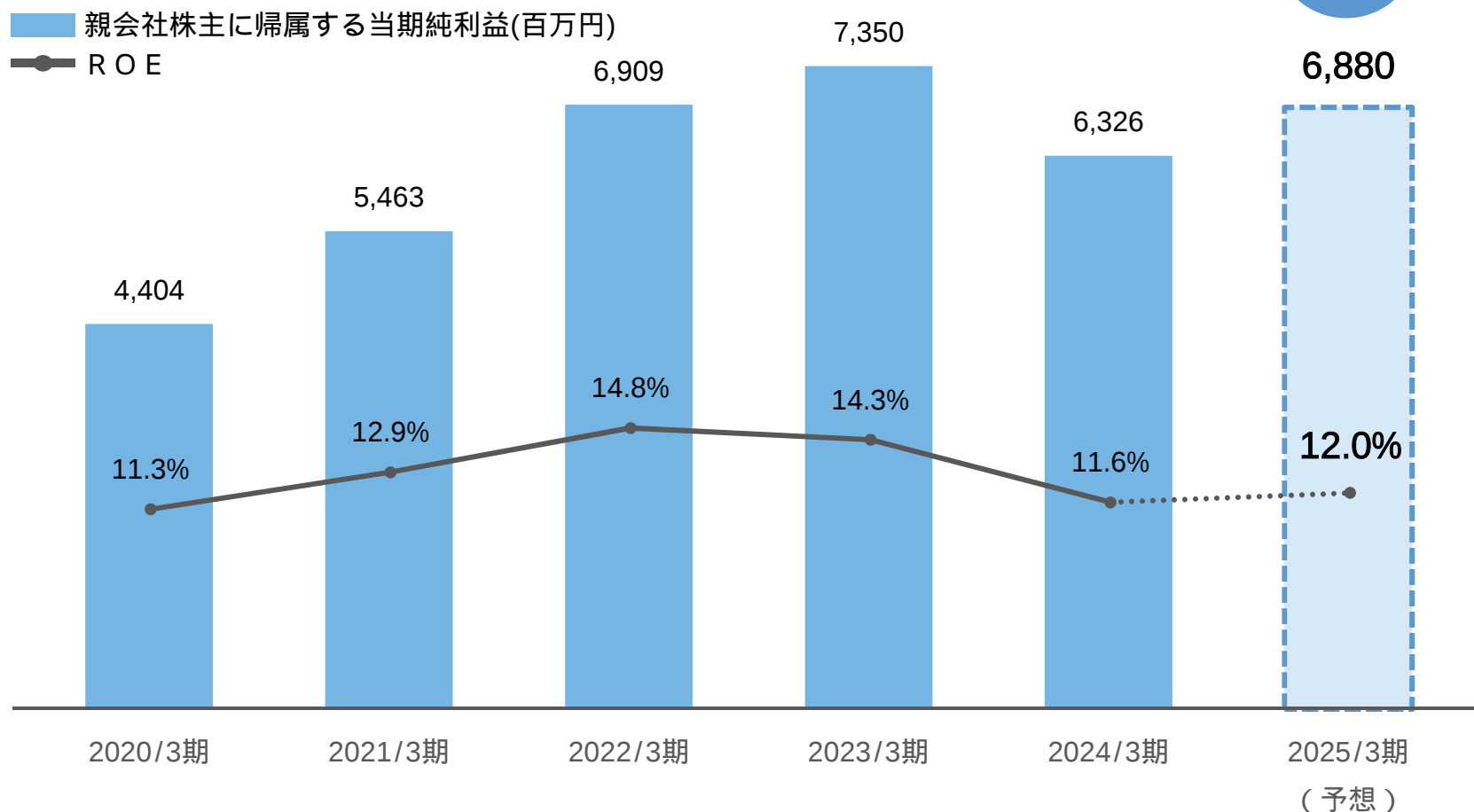
前期比
+8.7%

経常利益(百万円)
経常利益率

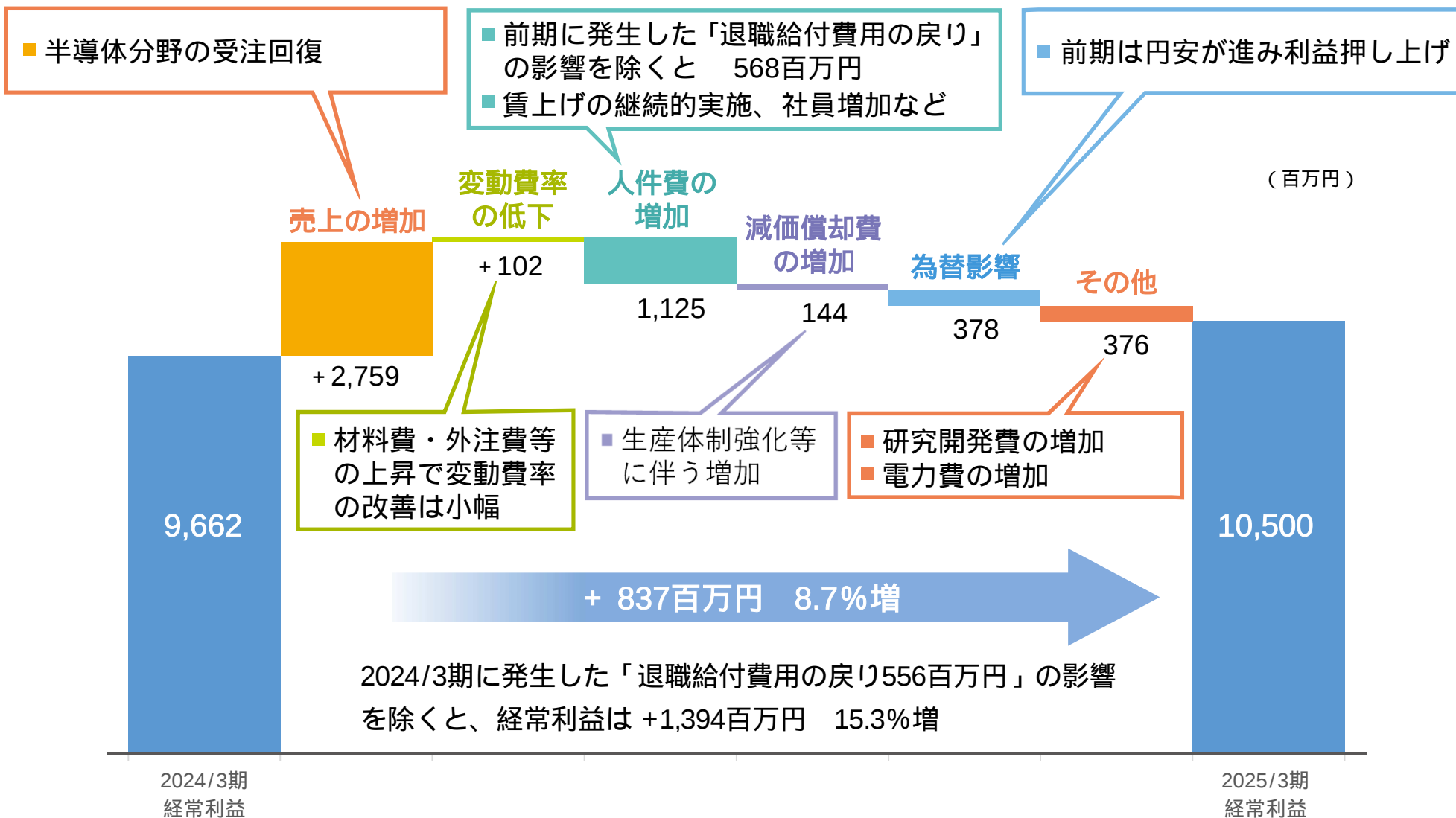


親会社株主に帰属する当期純利益と R O E の見通し

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比8.7%増
R O E は12.0%に小幅改善



連結業績予想 経常利益 増減要因分析



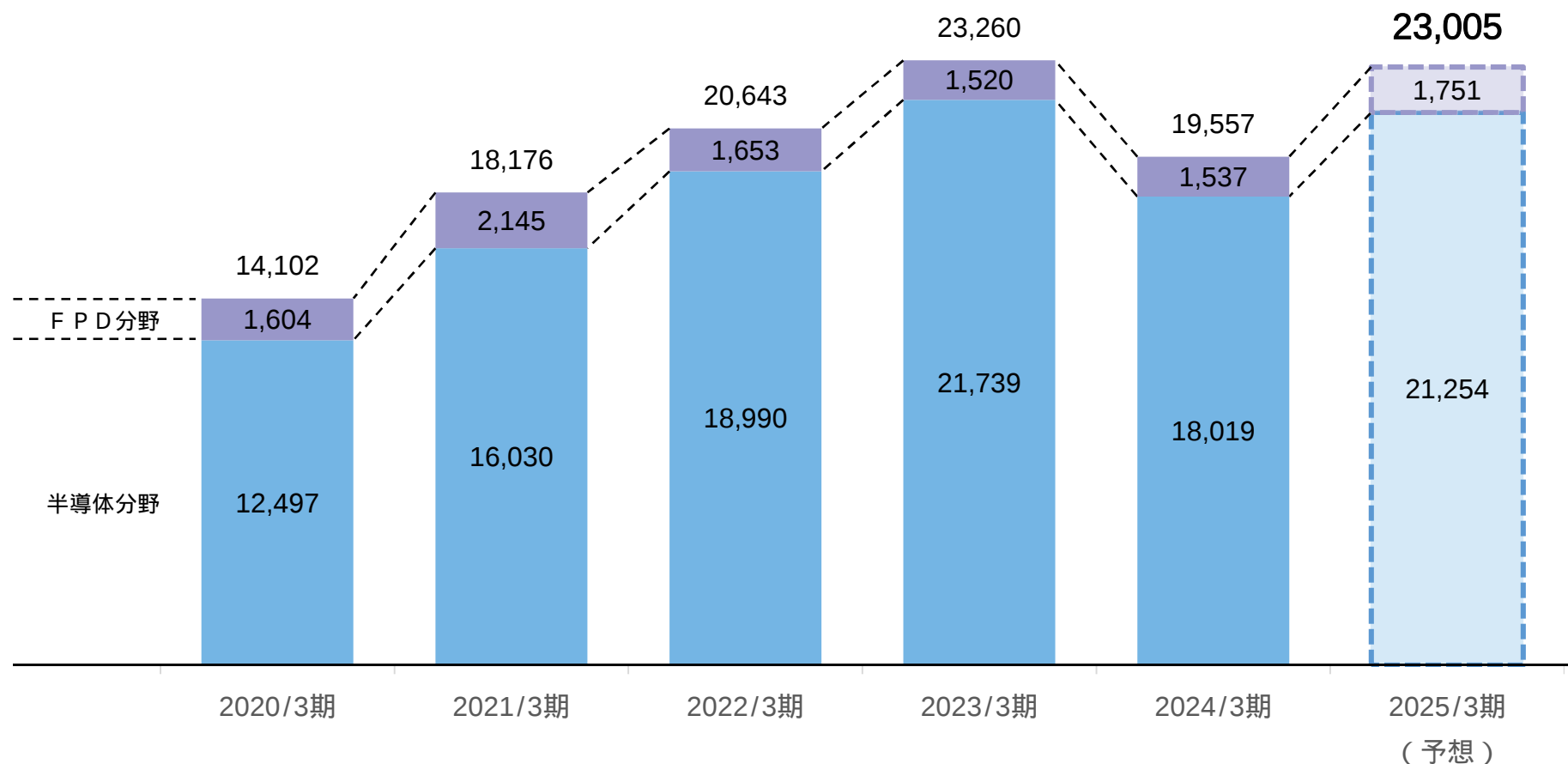
半導体・F P D分野の売上推移



半導体業界が回復局面を迎えており、在庫調整は間もなく一巡し
当社の受注も段階的に回復する見通し

前期比
+17.6%

(百万円)



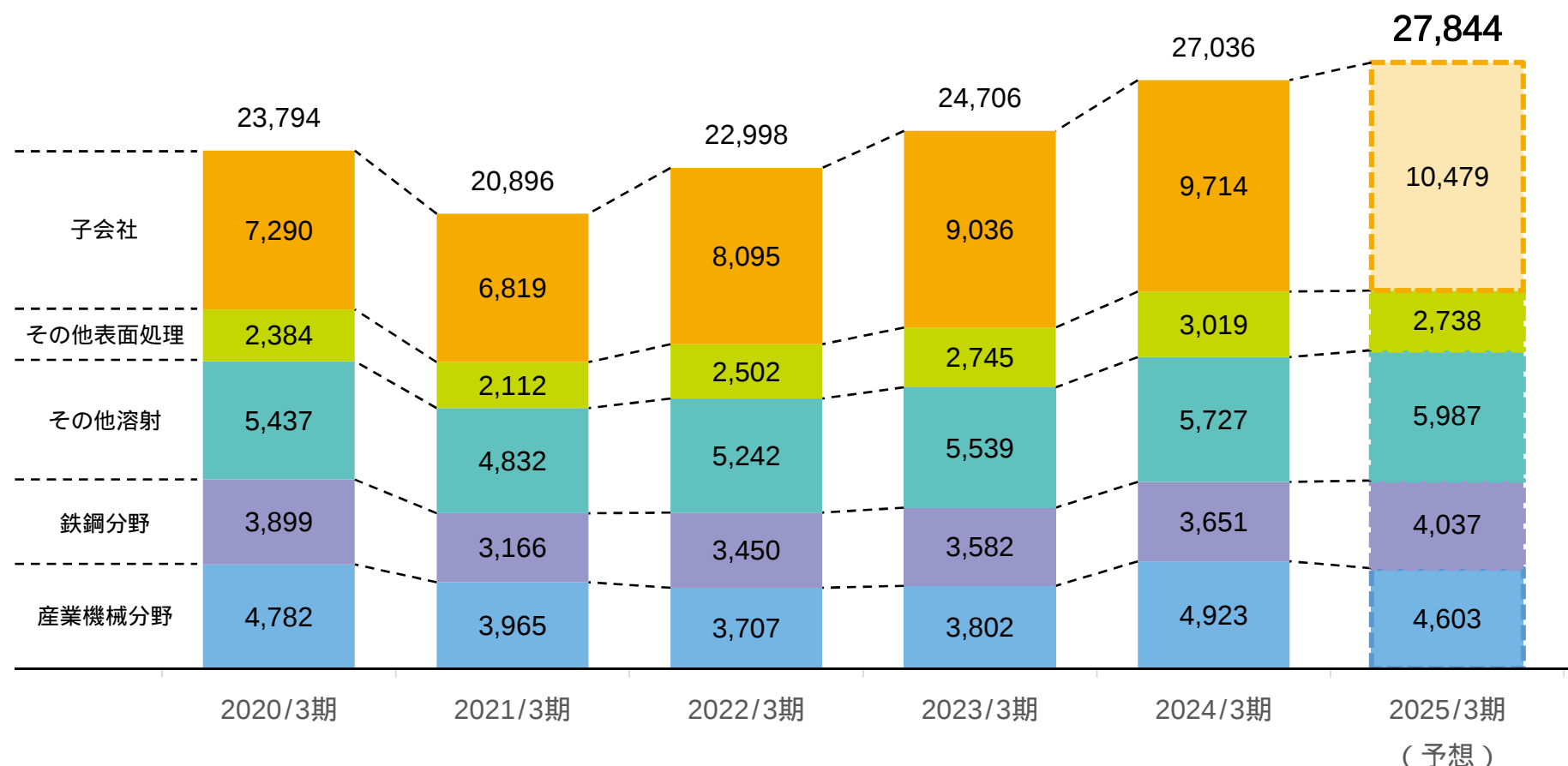
半導体・F P D分野以外の売上推移



半導体・F P D分野以外の売上高は、前期比3.0%増を見込む
産業機械分野は、前期好調の発電設備向けメンテナンスが反動減

前期比
+3.0%

(百万円)



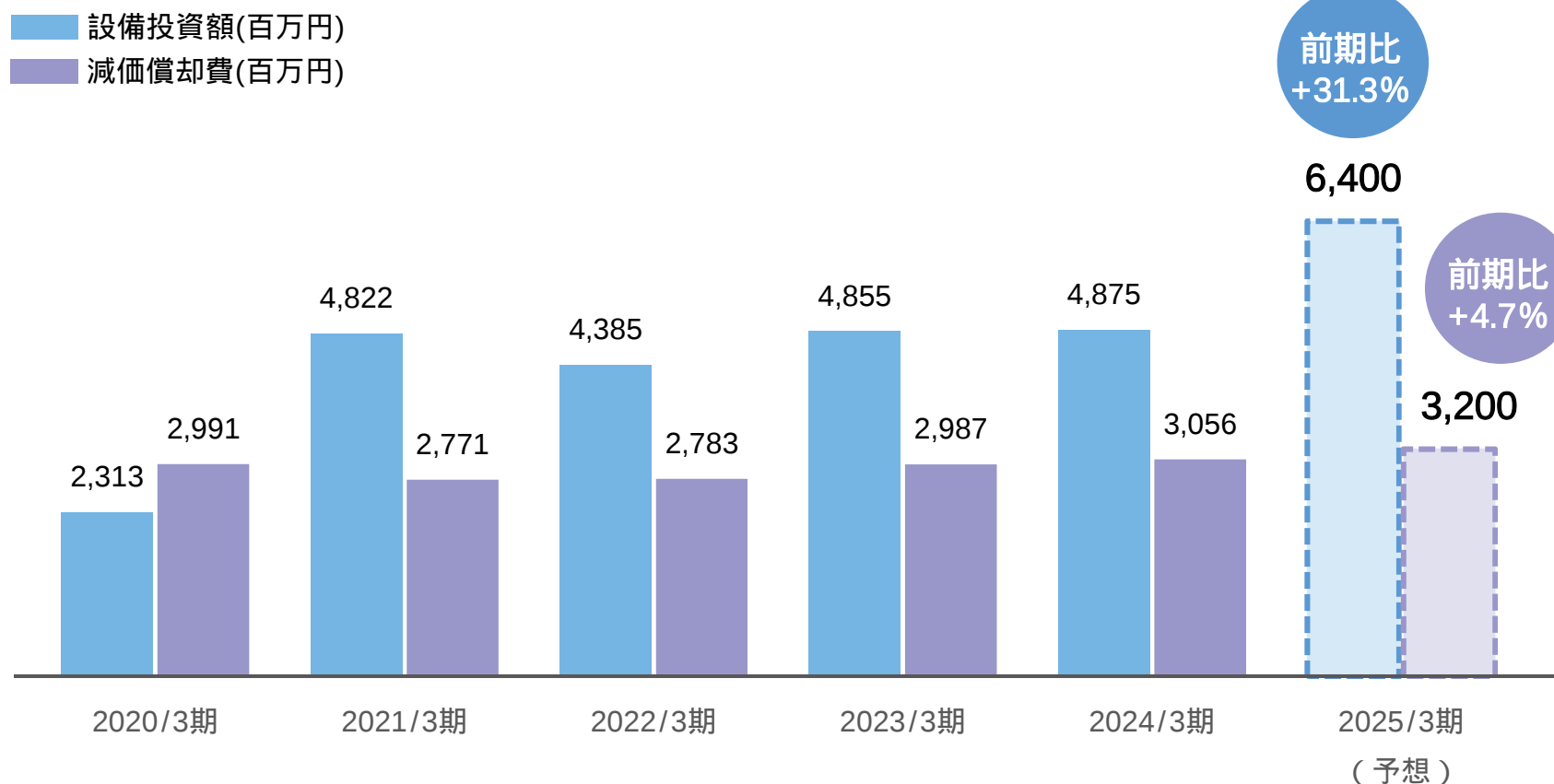
(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

設備投資額と減価償却費

POINT

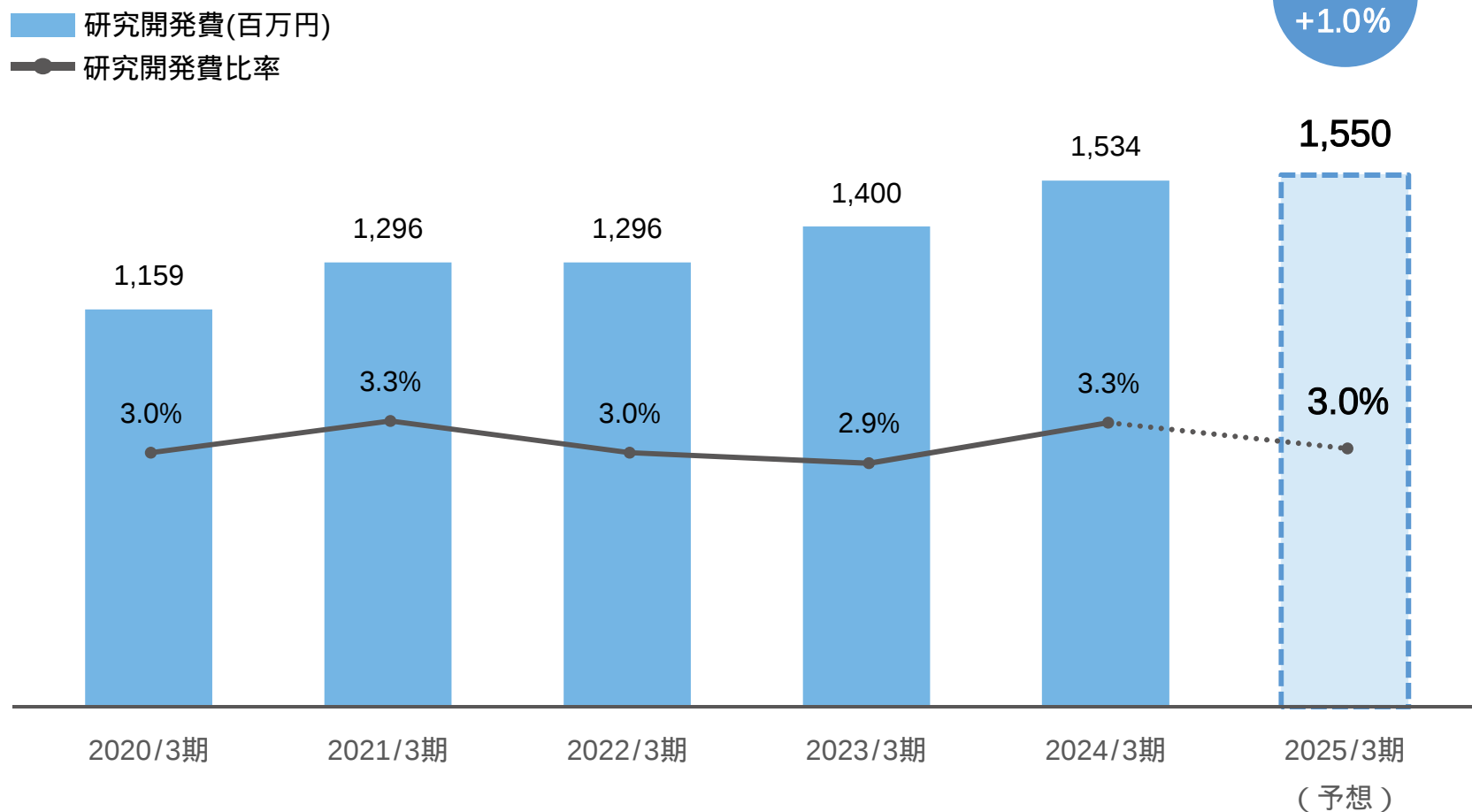
2025年3月期の設備投資予定額 64億円

- トーカロ 50億円：神戸工場新棟建設、増産対応・生産効率化、研究設備増強など
- 国内子会社 4億円：生産能力増強など
- 海外子会社 10億円：東賀隆(昆山)・漢泰国際電子(台湾)での新工場立ち上げなど



研究開発費

POINT 研究開発費は連結売上高比で 3 %程度を維持



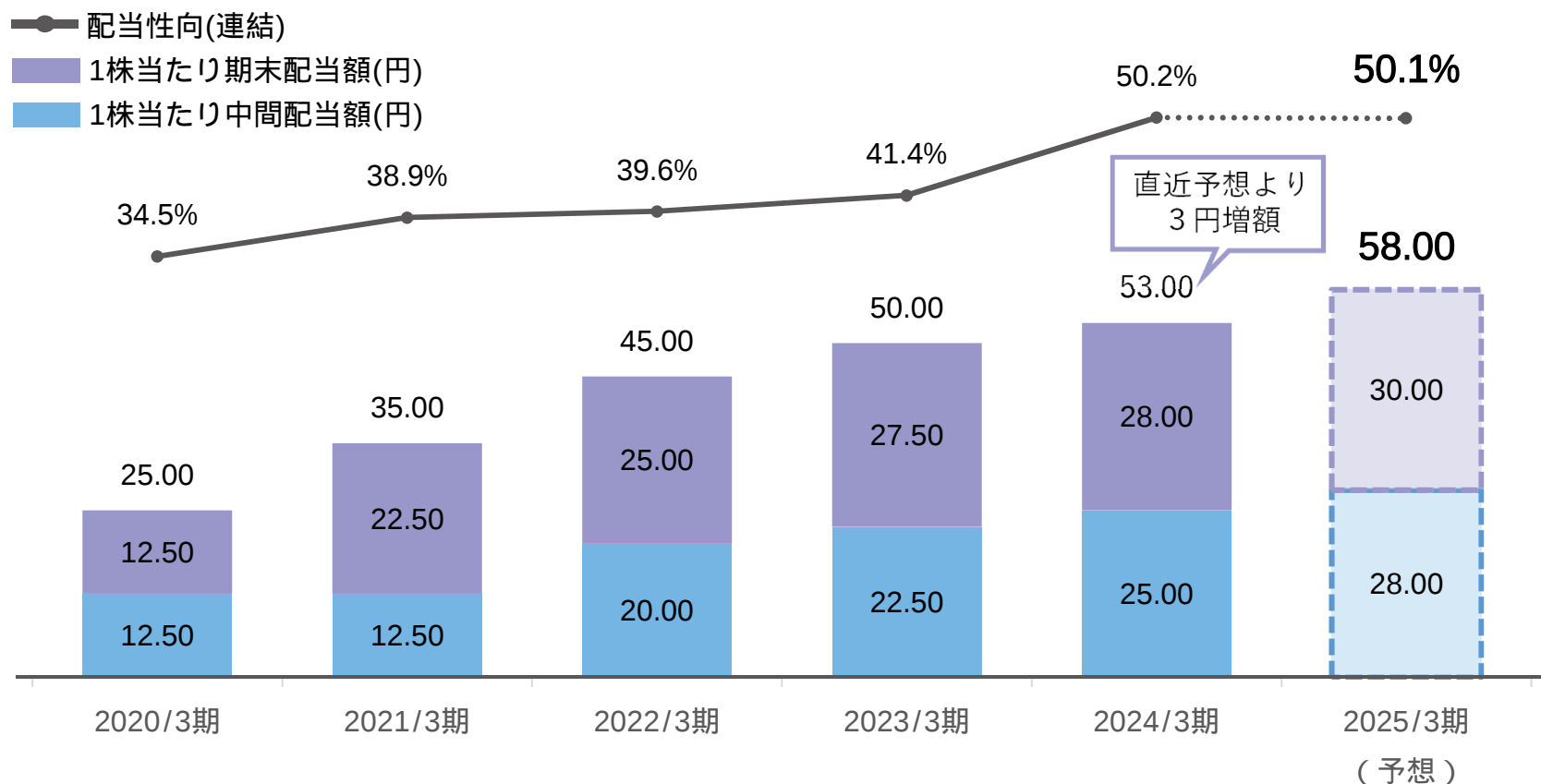
1 株当たり配当額と配当性向の推移

POINT

2025年3月期の年間配当は 58円 (配当性向 50.1%) を予定

株主還元方針

- 連結配当性向 50%程度および純資産配当率 (D O E) 5 %以上を目標とする
- 自己株式の取得も、事業環境や財務状況などを考慮しつつ機動的に実施

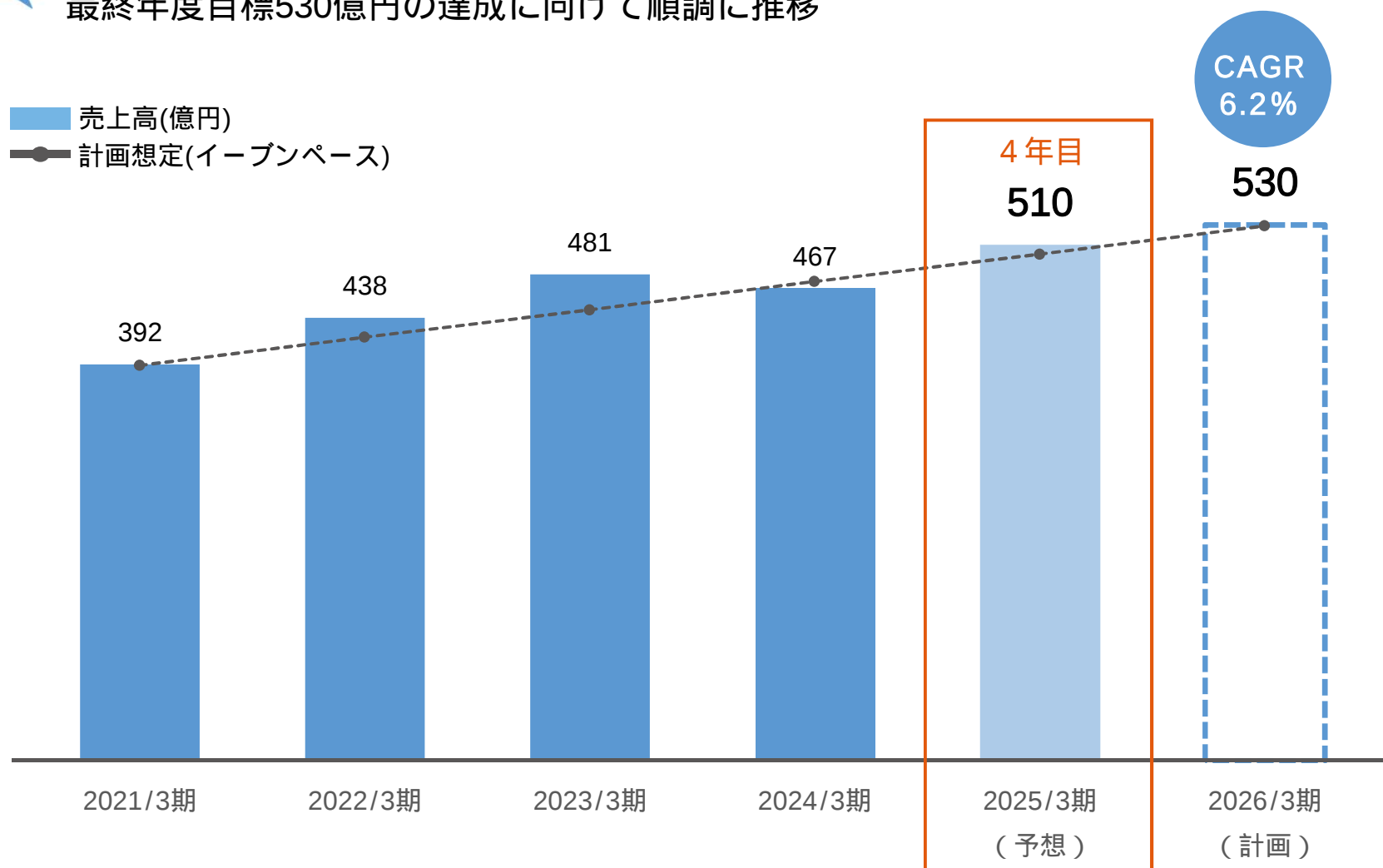




3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画 (売上高) の進捗状況

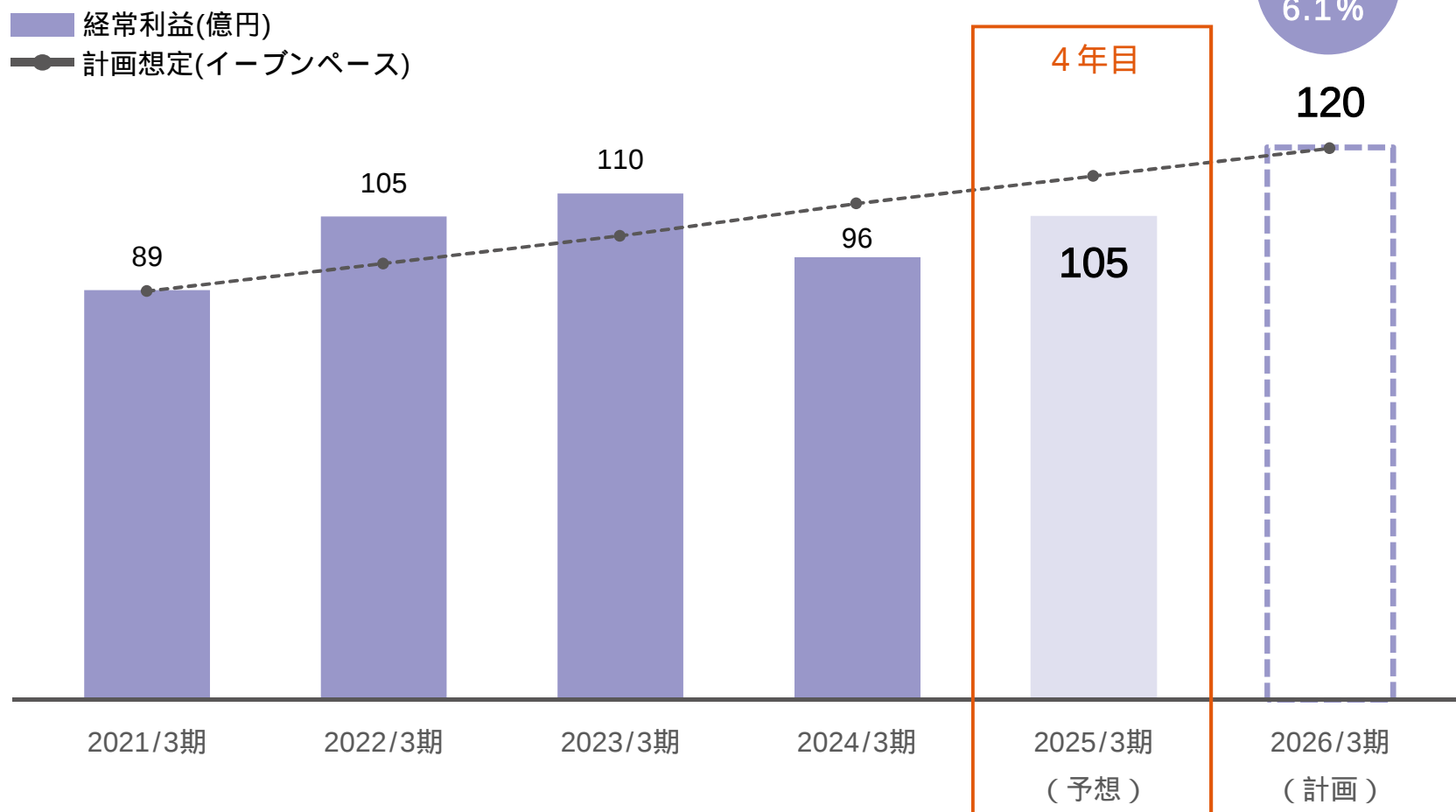
POINT 2025年3月期の売上予想は計画をやや上回るペース
最終年度目標530億円の達成に向けて順調に推移



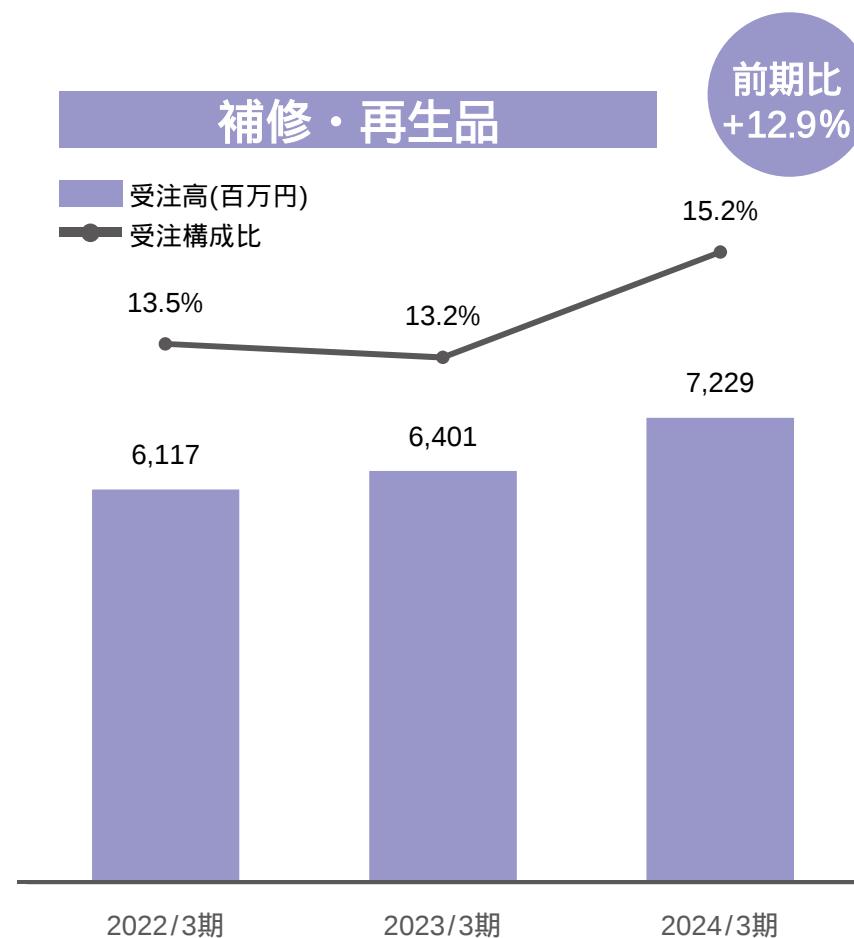
中期経営計画 (経常利益) の進捗状況



2025年3月期の経常利益予想は計画に対して遅れ
半導体分野の本格回復で、最終年度目標120億円の達成を目指す



 **顧客の設備部品等を補修・再生するための加工も順調に成長**



グローバル展開のトピックス

【トーカロ】海外事業本部を新設

2024年4月に、グローバル展開を加速するため海外事業本部を新設しました。
海外子会社・ビジネスパートナーとの連携強化、海外市場の開拓に一層注力します。

【中国】東賀隆(昆山)電子有限公司で新工場を立ち上げ

中国政府が進める半導体国産化を背景として、中国製造装置メーカーからの受注増加が見込まれることから、新工場を急ピッチで立ち上げています。

【台湾】漢泰国際電子股份有限公司で新工場完成

台湾半導体メーカーTSMC社(世界最大手)の動向に合わせ、溶射リコートビジネスの生産能力拡大を企図し建設していた新工場が完成しました。

【タイ】NEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.を完全子会社化、新工場建設

溶接事業のナイス株式会社(尼崎市)が51%、当社が49%を出資して2012年10月に設立したNEIS & TOCALO (Thailand) CO., Ltd.の全株式を取得しました。経営資源を溶射事業に集中するとともに新工場を建設し、業容の拡大を図ります。

多様な人財の育成と活躍

求める人財と組織

当社の社是である「技術とアイデア」「若さと情熱」「和と信頼」「グッド・サービス」をもとに、「今よりもっと」を考えて取り組む人財を育てる。

また、その人財が生み出すアイデアを大切にし、みんなで後押しする組織風土をつくる。

人財育成の主な取り組み

重点分野プロジェクト、営業事例発表大会

重点分野等の専門知識やアプリケーション事例を共有して学び合い、提案営業力を高める。

技術レポート発表大会

社是「技術とアイデア」の原点といえるイベント。技術開発への情熱を湧き上がらせ、既成概念にとらわれない柔軟な発想で開発に取り組む風土を醸成する。

グローバルチャレンジ制度

グローバル展開の核となる人財のみならず、当社を将来担っていく中核人財を育成する。

マイスター制度

熟練技術者から若手・中堅技術者に、優れた技能や実践的なノウハウを伝承する。

技能士などの資格の取得

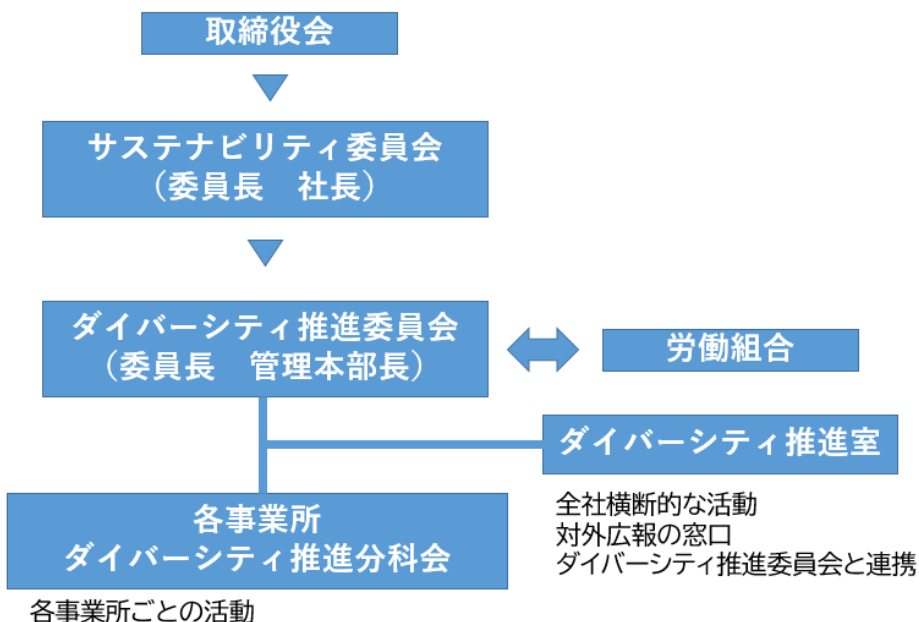
溶射 / 機械加工 / 金属熱処理技能士、QC検定、非破壊試験技術者の資格取得を通じ、ものづくりの技能や品質管理手法の向上を支援する。

DX推進チーム

スマートファクトリー化 (自動化、省人化、省エネ等を実現する工場) やデータ活用を推進して業務の効率化・高度化に結び付ける人財を育成する。

ダイバーシティ（多様性）の推進

トーカロのダイバーシティ推進体制



【主な取り組み】

- ・ダイバーシティ推進委員会、ダイバーシティ推進室を立上げ
- ・管理職への女性社員登用強化
- ・新卒女性社員の採用強化
- ・男性育休取得促進
- ・管理職向けアンコンシャスバイアス研修
- ・女性社員向けキャリアアップ研修
- ・不妊治療休業制度導入
- ・兵庫県初、くるみんプラス認定取得
- ・健康経営優良法人認定取得
- ・女性従業員の働きやすい職場づくり
- ・外国人の採用スタート（3名）
- ・他社とのダイバーシティ推進に向けた交流など

2024年6月「えるぼし認定」
最高位の3つ星を取得



5つの評価項目「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の基準に応じて3段階で評価されます。

KPI
(2025年度目標と現在の状況)

目標
5%

女性管理職比率

1.4% → 2.1%

(2021年度実績)

(2023年度実績)

目標
13%

女性正社員比率

9.5% → 12.2%

(2021年度実績)

(2023年度実績)

目標
90%

男性育休取得率

31.3% → 82.8%

(2021年度実績)

(2023年度実績)



4. 持続的成長に向けた取り組み

半導体顧客とのパートナーシップ

Applied Materials 2023 SUPPLIER EXCELLENCE AWARD Best in Class Performance受賞

SUPPLIER EXCELLENCE AWARD は、品質、サービス、リードタイム短縮、納期遵守、コスト、即応性などの分野で技術的・実務的に優れたパフォーマンスをあげた企業を表彰するものです。

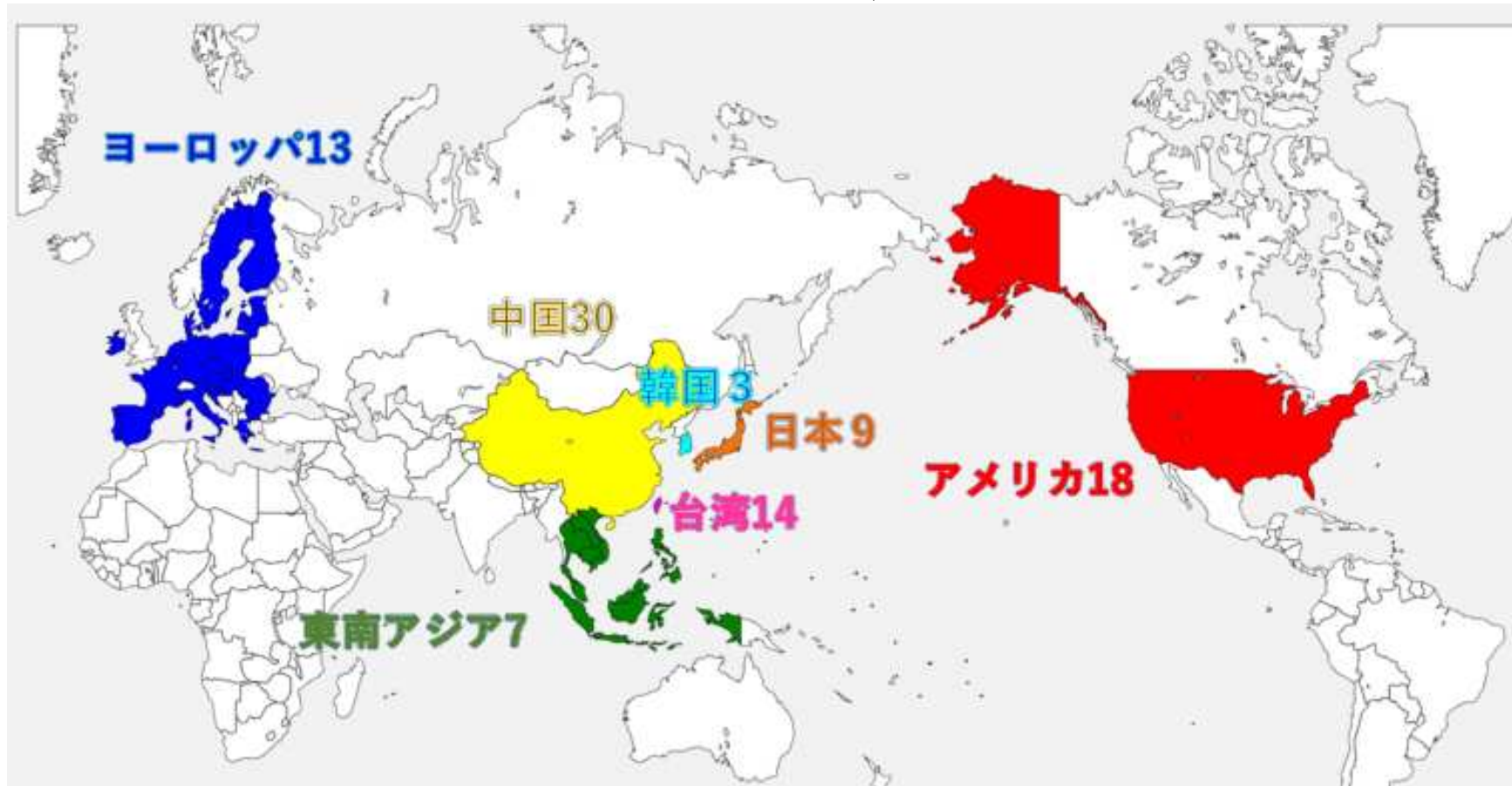
当社は、Best in Class Performance賞を2年連続で受賞。

Applied Materials, Inc.のグローバルサプライチェーン担当のコーポレートバイスプレジデント、ポール・シャブラ博士からは、「サプライヤーエクセレンス賞を受賞された各社の一貫して秀逸なパフォーマンスと、取扱量の変動にも対応できるより強靱なサプライチェーン構築に向けた揺るぎない協力や誠意を称えたいと思います。サプライヤーの皆さまとの緊密な信頼関係こそ、当社がイノベーションを加速して半導体業界の未来の成長を支えていくための鍵です」とのコメントを頂戴しました。



世界半導体の新工場

半導体生産工場は2022年までに世界64工場あり、
2023年には14工場が新しく稼働開始、更に80工場を建設計画へ。



半導体装置メーカーは、この新工場計画に、装置納入を間に合わせるため、2030年に向けて更なる増産を計画。

2030年に向けた売上成長イメージ

外部環境

- 半導体市場は、2030年に向けて約2倍に拡大する
- 顧客（製造業）のニーズとして、環境負荷低減や省エネなどへの対応の重要性が高まる

成長戦略

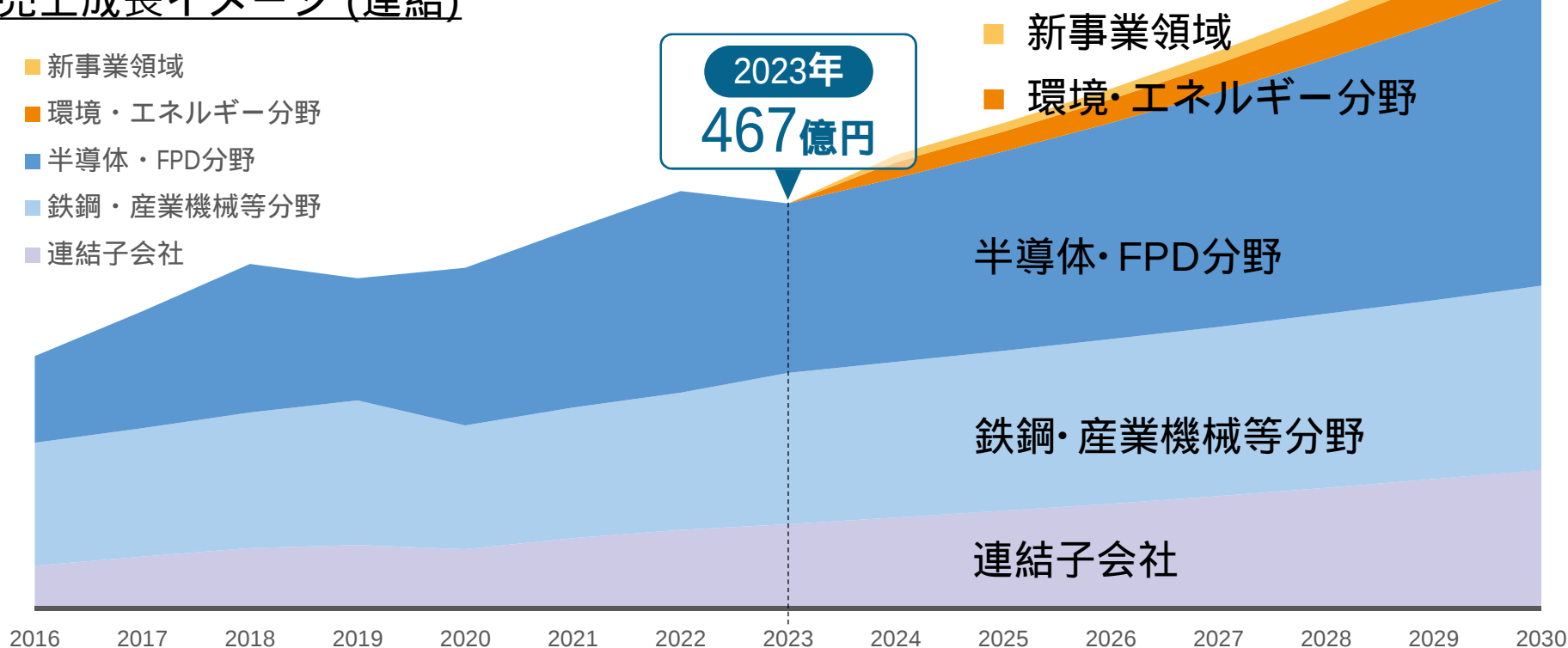
- 生産能力増強と自動化・省人化のための積極的な設備投資
- 半導体の微細化・多層化への対応をはじめ、新事業領域の開拓に向けた次世代皮膜開発

検討中のイメージ

2030年
800億円～

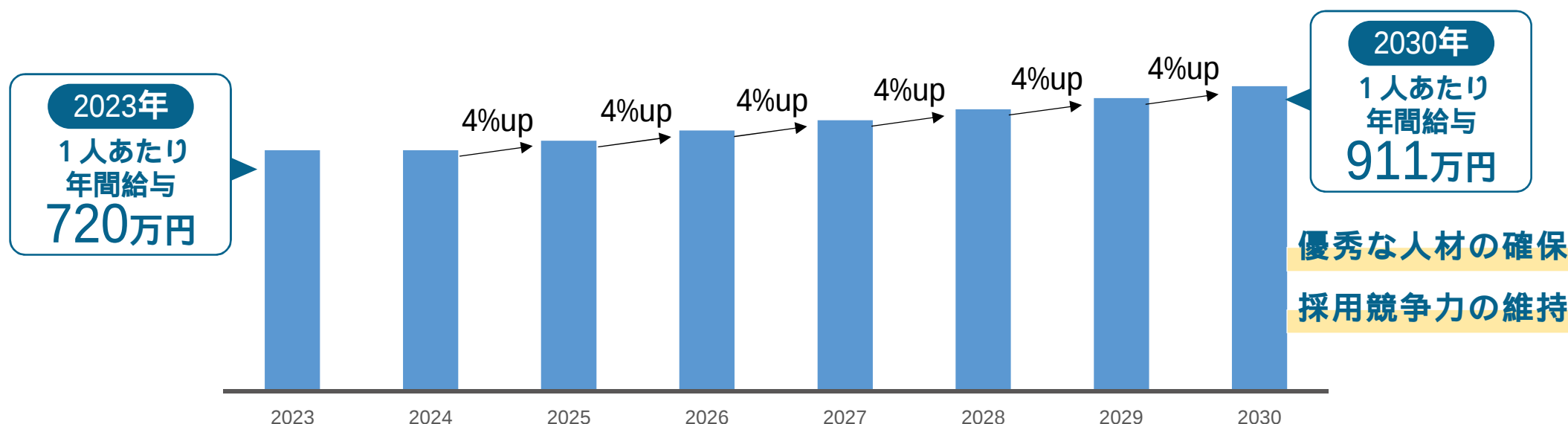
売上成長イメージ (連結)

- 新事業領域
- 環境・エネルギー分野
- 半導体・FPD分野
- 鉄鋼・産業機械等分野
- 連結子会社



売上成長と賃上げについて

(単体)	2023年度	2030年度	年平均up率	
売上高	379億円	650億円	7.6%	半導体分野の成長と新市場の開拓
人員数	1,034人	1,244人	2.7%	毎年30名程度の増員
1人あたり年収	720万円	911万円	3.4%	来期から4%の賃上げを継続



トーカロは、神戸アリーナプロジェクト「GLION ARENA KOBE」の
オフィシャルパートナーとなることで、神戸の更なる発展と社会貢献を
共に目指してまいります。



施設概要

所在地： 神戸市中央区新港町130番1,2
施設名称： GLION ARENA KOBE
延床面積： 約32,300㎡
収容客数： 約10,000人
開業時期： 2025年4月（予定）
土地所有： 神戸市
建物所有： NTT都市開発株式会社
運営会社： 株式会社One Bright KOBE
設計施工： 株式会社大林組



ご清聴ありがとうございました。



注意事項

本資料における将来に関する記述は、発表日現在、当社が入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、実際の業績等はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画部

TEL: 078-303-3433 (代)